

# 進化型計算特論

## 問題 2

課題提出日：2021 年 6 月 2 日

所 属：工学研究科 電気・情報系専攻 電気情報システム工学分野

学籍番号：2210104020

氏 名：川口 拓海

(問題2)平面上に原点 $O$ を中心とする半径5と10の同心円 $C_1$ と $C_2$ があり、 $O$ から距離2のところ定点 $A$ がある。動点 $P_1$ 、 $P_2$ がそれぞれ $C_1$ 、 $C_2$ 上を一定の速さで反時計回りに回転している。時刻 $t=0$ で $O$ 、 $A$ 、 $P_1$ 、 $P_2$ がこの順に一直線上に並び、また、 $P_1$ の角速度は $P_2$ の2倍とする。 $\Delta AP_1P_2$ の面積の最大値を求めよ。

(解答) 動点 $P_2$ の角速度を $\omega$ とおくと、 $P_1$ の角速度は $2\omega$ と表せる。

ここで、時刻 $t=0$ のときの4点 $O$ 、 $A$ 、 $P_1$ 、 $P_2$ が $x$ 軸上にくるように座標軸を設定すると、時刻 $t$ のときのそれぞれの座標は、 $A(2, 0)$ 、 $P_1(5 \cos 2\omega t, 5 \sin 2\omega t)$ 、 $P_2(10 \cos \omega t, 10 \sin \omega t)$ と表せる。

$$\begin{aligned}\Delta AP_1P_2 &= \frac{1}{2} |\mathbf{AP}_1 \times \mathbf{AP}_2| \\ &= \frac{1}{2} |50 \sin \omega t \cos 2\omega t - 20 \sin \omega t - 50 \sin 2\omega t \cos \omega t + 10 \sin 2\omega t| \\ &= \frac{1}{2} |-50 \sin \omega t - 20 \sin \omega t + 10 \sin 2\omega t| \\ &= 5 |7 \sin \omega t - \sin 2\omega t|\end{aligned}$$

$f(\omega t) = 7 \sin \omega t - \sin 2\omega t$  とおく。

$$f'(\omega t) = 7 \cos \omega t - 2 \cos 2\omega t = 4 \cos^2 \omega t - 7 \cos \omega t - 2 = (4 \cos \omega t + 1)(\cos \omega t - 2)$$

$$\text{より、} f'(\omega t) = 0 \Leftrightarrow \sin \omega t = \frac{1}{4}$$

これを満たす $\omega t$ を $\theta_a$ 、 $\theta_b$ とおく。

増減表は以下のようなになる。

$\omega t$	0	...	$\theta_a$	...	$\theta_b$	...	$2\pi$
$f'(\omega t)$		+	0	-	0	+	
$f(\omega t)$			↗		↘		↗

$$f(\theta_a) = 7 \times \frac{\sqrt{15}}{4} - 2 \times \left(-\frac{1}{4}\right) \times \frac{\sqrt{15}}{4} = \frac{15\sqrt{15}}{8}$$

$$f(\theta_b) = 7 \times \left(-\frac{\sqrt{15}}{4}\right) - 2 \times \left(-\frac{1}{4}\right) \times \left(-\frac{\sqrt{15}}{4}\right) = -\frac{15\sqrt{15}}{8}$$

以上より、 $\Delta AP_1P_2$ の面積の最大値は

$$5 \times \frac{15\sqrt{15}}{8} = \frac{75\sqrt{15}}{8}$$

となる。